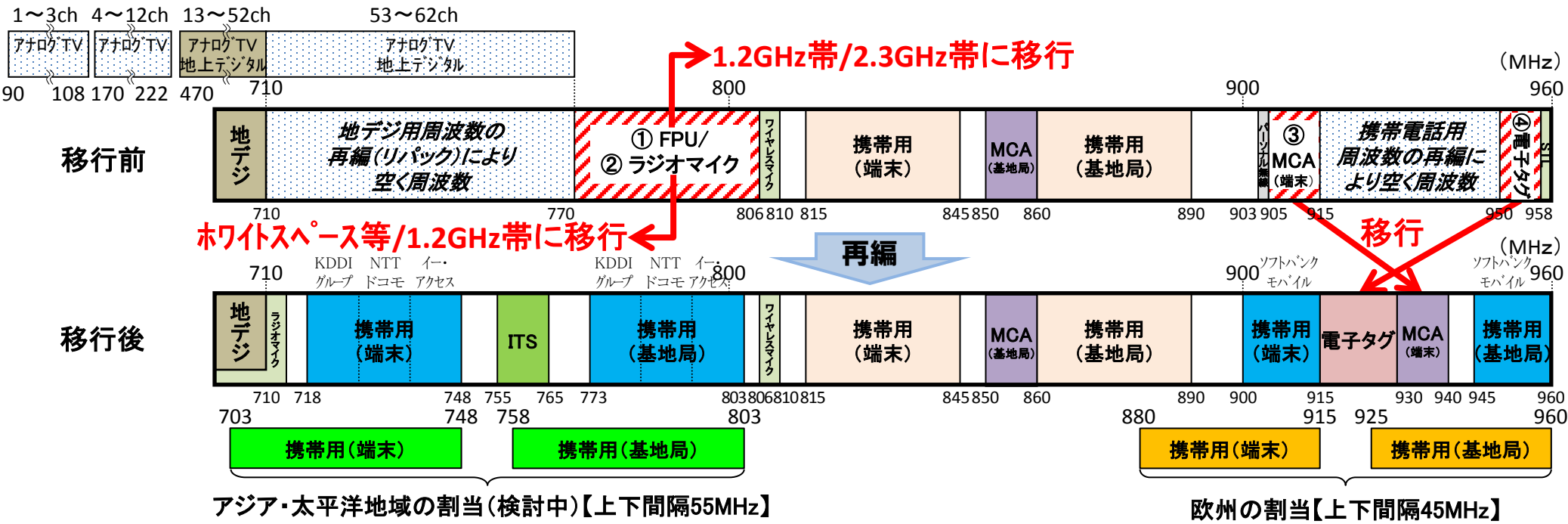


700/900MHz帯の周波数再編の概要

諸外国の周波数割当と調和した携帯電話用周波数を最大限確保するため、MCA、電子タグ、特定ラジオマイク、FPUの既存システムの周波数移行を行うこととし、900MHz帯は平成24年3月にソフトバンクモバイルに、700MHz帯は同年6月にイー・アクセス、NTTドコモ及びKDDI／沖縄セルラー電話にそれぞれ割当て。



■ 移行対象のシステムの概要

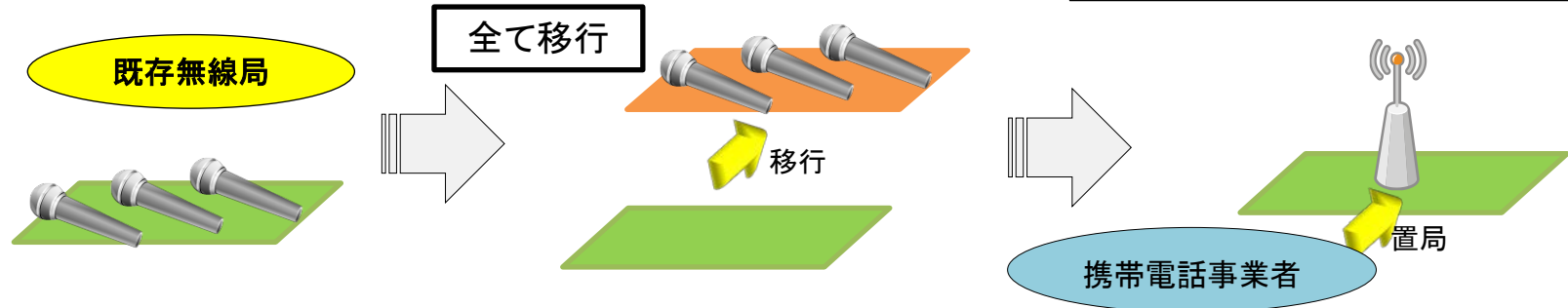
システム名	システムの概要	主な利用者
700MHz帯		
① FPU	報道、スポーツ中継など放送事業で使用される可搬型システム。	NHK、民間放送事業者
② ラジオマイク	各種興行やスタジオ等において、音声・音響等を伝送するためのワイヤレスマイクシステム。	NHK、民間放送事業者、劇場等の興行者
900MHz帯		
③ MCA	同報(一斉指令)機能やグループ通信機能等を有する自営系移動通信システム。陸上運輸、防災行政、タクシー等の分野で使用。	運送事業者、地方公共団体等
④ 電子タグ(RFID)	個体識別情報を近距離の無線通信によってやりとりするシステム(電子タグ)。物流等に用いられる。	物流関係事業者等

終了促進措置による迅速・円滑な周波数再編イメージ

従来の例

既存無線局が全て移行した後に、携帯電話事業者が基地局を整備

全額、既存無線局の自己負担となるため、移行終了までに10年程度の期間が必要



周波数移行に要する費用を、新たに電波の割当を受ける者が負担し、電波の再編を促進する制度（終了促進措置）を導入
(電波法の一部改正(H23.5.26成立、6.1公布、8.31施行))

新スキーム

携帯電話事業者が、既存無線局を順次移行させながら基地局を整備

携帯電話事業者が移行費用を負担することで、移行終了までに必要な期間を短縮

